

学校教育計画（令和6年度～令和8年度）

学校名	県立永谷高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科
-----	----------	------------------	---------

1 学校のミッション

○ 全日制の課程学年制普通科を設置する高校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。

○ 未来を拓く力と自主自律の気概をもつ人材の育成をめざし、確かな学力と、自分と他人を大切にし平和を愛する人間尊重の精神の調和のとれた育成に取り組む。生徒一人ひとりが自己のキャリア形成を見据えて、自己と社会の関わりについて考え、将来にわたって自己実現を図ることができるよう教育活動を実践する。

○ 基礎的・基本的な知識・技能を習得し、それを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うことができるよう、主体的・対話的で深い学びを推進する。教科等横断的な視点に立った学習活動をとおして、自己肯定感を高めることができるよう、不断の授業改善の実施等、教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

【教育目標】 知性の高い、情操豊かな、心身共に健康な、そして未来を拓く力と、自主自律の気概を持つ人間の育成を図る。

【教育方針】 (1) 基礎学力の充実と個性の伸長を図る
(2) 自律の精神の涵養を図る
(3) 情報化社会に適応できる人間を育成する
(4) 人間尊重の精神と平和を愛する精神の涵養を図る

【育みたい生徒像】

「確かな学力」と「自分と他人を大切にし、平和を愛する、人間尊重の精神」を持った知性と感性のバランスのとれた人材の育成

3 計画策定時点での課題

○ 学習面においては、授業を中心に「学び直し」「個別最適な学び」「協働的な学び」を充実させることや、将来に向けて希望する進路を実現できるよう「進路実現プロジェクト」をさらに充実させること、また、放課後の時間を活用した学習会の開催とその活性化など、学力向上への取組みは継続した課題として取り組んでいく。

○ 生活面においては、授業規律の徹底、服装、頭髪、遅刻指導等のきめ細かな生活指導や、問題行動の早期発見・早期対応により「温かくかつ厳しい毅然とした生活支援」を引き続き推進すること、また、支援が必要な生徒には校内外の多様な支援の活用等を充実させていく。

○ 生徒が学習や部活動、学校行事に主体的に取り組む、自己肯定感を高める機会、場面を充実させること、部活動では、生徒数減少の中でも充実した活動になるよう取り組んでいく。

○ 地域との交流においては、生徒やPTAが清掃活動やイベントなどをとおして地域とつながりを持ち、さらなる生徒の参加率の増加に向けて、取り組んでいく。

4 3年間の目標と主な方策

	視点	3年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒一人ひとりの学習ニーズと学力の状況に応じた多様で柔軟な教育課程編成及び確かな学力の育成を図るため組織的な授業改善に取り組む。</p> <p>②基礎・基本の定着に向けて学び直しや他者との協働的な学びを積極的に取り入れるとともに、様々な学習支援の方法について研究を進め、生徒一人ひとりに向き合い社会に対応できる力を培うことが出来る教育実践に取り組む。</p> <p>③学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な活動、協働的な取り組みにより、問題を解決する力を育む。</p>	<p>①生徒による授業評価の結果分析を、教科横断的に協議し、授業研究・授業改善の充実に取り組む。</p> <p>②個別最適な学びや協働的な学びの実現にむけた取り組みや成果を授業観察等で共有する。生徒の学習ニーズを把握し、それに応じた講座の設定をする。また、ICT等を活用し生徒の自学自習への動機づけを行う。</p> <p>③学校行事や生徒会活動の広報を充実させ、生徒の積極的な参加を促すとともに、創造的な活動に主体的に参加できるよう促す。</p>
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>①生徒理解に基づく「温かくかつ厳しい毅然とした生活支援」を目指し、教育相談等個に応じた支援体制の充実を図る。</p> <p>②部活動の積極的な参加を促し、活動を通して、自主自律の精神や責任感、連帯感を涵養する。</p>	<p>①規範意識の醸成を目指し、全職員の共通の理解のもと、生活支援体制を構築する。校内だけでなく、外部機関との協力により、生徒個々に応じた支援体制を構築する。</p> <p>②部活動や同好会活動を充実させ、参加率を高める。</p>
3	進路指導・支援	<p>○生徒一人ひとりが、生涯にわたる多様なキャリア形成を見据えて、「こうしたい、こうありたい」という志を持つ生徒に育てることを目指し、進路指導の充実を図る。</p>	<p>○総合的な探究の時間やLHRを中心として、あらゆる教育活動においてキャリア教育を充実させる。</p> <p>○生徒一人ひとりが主体的に進路を決定し実現させるため、自己の強みや課題などを理解し、自分が将来どのような社会の形成者となるかを主体的に考え、選択できる力や態度を涵養する。そのための3年間にわたる系統的なキャリア教育に取り組む。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域との協働を大切にし、地域に信頼される学校づくりを進める。</p> <p>②ボランティア活動への参加を拡大し、社会性や思いやりの心を育み自己肯定感を高めさせる。</p>	<p>①地域の自治会や町内会、有志の団体との連携した活動を充実させる。</p> <p>②地域イベントの広報を工夫し、生徒・教職員の参加者の拡大を図る。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①「生徒」「保護者」「教職員」の三者が誇れる学校づくりを目指し、環境美化の観点から様々な課題改善に取り組む。</p> <p>②教員が生き生きと働ける職場とし、ワークライフバランスを推進するために教員の働き方改革を推進する。</p>	<p>①各クラスの清掃や整理整頓など環境美化に努め、また、PTAと連携し校内外の美化活動に取り組む。</p> <p>②学校閉庁日の設定や年休を取得しやすい環境を目指し、校務の効率化を促進し、学年・グループ等の連携により長時間勤務の是正を目指す。</p>